

現代日本語文法
第1部 総論
第1章 文法とは何か

2014-05-09(金)

@第1回 日本語文法勉強会

Yuta Hayashibe

はじめに

この勉強会について

日本語処理を行うための基礎力をつける勉強会
まずは半年で「現代日本語文法1」を読む



日本語記述文法研究会（2010）くろしお出版

@taku910さんのツイートで知った



Taku Kudo
@taku910

フォロー

amazon.co.jp/%E7%8F%BE%E4%B... 現代日本語文法シリーズ すごすぎ。NLPerなら手元に置いて損はない。今日も日本語の受け身にどんなパターンが調べるのに役にたった。

返信 リツイート お気に入りに登録 その他

a AmazonJP本のお得情報(アマゾン)

現代日本語文法1 第1部総論 第2部形態論

現代日本語文法1 第1部総論 第2部形態論

[View on web](#)



リツイート
6

お気に入り
30



7:33 - 2012年5月18日

[画像/動画を報告する](#)

<https://twitter.com/taku910/status/203493592604483584>

第1部 総論 第1章 文法とは何か

第1節 文法の規定

文法がなぜあるのか？

有限の表現形式で無限の内容を伝達するため

文

表現形式と意味内容をもっている

言語が記号形式と記号内容をもっているため

言語は要素からなる統一体

いくつかの段階において要素による統一体をなしている

（「言語は分節をもつ」）

文 ← 単語により形成

単語 ← 音韻により形成

文法研究

文法：単語から文が形成されるときの法則

例：単語の形態変化・単語の結合の仕方の法則性

大きく2つ：形態論と統語論（構文論・統辞論）

形態論

単語の形成

単語の文法的領域

統語論

第1部 総論 第1章 文法とは何か

第2節 文法的基本的単位

文法の基本的単位

文：言語活動の基本的な単位

事柄的な内容（命題）

それに対する話し手の捉え方や伝達的な態度（モダリティ）

単語：文の構成要素

語彙的な意味を表す

文法的意味や機能を持っている

節：文の構成要素

1つの述語とそれに従属するいくつかの成分とからなる

意味的にはおおよそ1つの出来事や事柄を表す

文

2.1文の規定

音声の切れ目，通常末尾に句点

2.2文の成立

命題とモダリティ

話し手の発話・伝達的な態度を陽に表す形式を含んだものが文の一部に含まれるのは，引用の場合だけ

3.1 単語の規定

単語の規定

単独で文になりうる最小の存在

一定の語彙的意味

世界の断片を切り取って表す

一定の文法的意味・機能

文を形成するときの単語の結びつき方

複数もつものは、表し分けのために語形変化する

3.2 単語度

単語度

単語のもつ統語的・意味的な自立性の高さ

単語度の高い典型的な単語

名詞・動詞・形容詞・副詞

本, 倒れる, さむい, とても

単語度の低い周辺的な単語

助動詞：だろう, らしい, かもしれない

格助詞：が, 接続助詞：ので

文法的意味はもつが語彙的な意味はもたない

品詞

品詞 → 詳細は第2部第2章

文法的な性質の違いで単語を分類したもの

下位類

語彙的な違いが深く関わる

(例)動詞：基本的な語彙的意味は動き

- 動き動詞：“典型的”な動詞
- 状態動詞：動きを表さない

(例)形容詞 → 属性形容詞 / 感情感覚形容詞

節

節：文の構成要素

1つの述語とそれに従属するいくつかの成分

意味的にはおおよそ1つの出来事や事柄を表す

主節(⇔従属節)：文の中核となる節

複文：節を2つ以上含む文

従属する節：補足節，名詞修飾節，副詞節

従属関係がない節：等位節，接続節

第1部 総論 第1章 文法とは何か

第3節 文の分類

文の分類

構造的な分類

独立語文・述語文・動詞述語文・形容詞述語文・名詞述語文・単文

意味的な分類

事柄的内容の観点で分類 / モダリティの観点で分類

その他の分類

談話タイプで分類（対話文・独話文…）

文を事柄的な内容の観点で分類

動きを表す文：多くは動詞述語文

動き：発生・展開・終了という時間的な展開の過程
を持つ事態

「書類を書いた」→動き

「多くの人が部屋にいる」→状態

「姉はよく喋る」→性質

状態を表す文：多くは形容詞/名詞述語文

伝達的な機能による分類

平叙文

疑問文

意志文

勧誘文

行為要求の文

感嘆文